

指定校番号	29048	学級活動		生徒会活動	○	学校行事		中学校用
-------	-------	------	--	-------	---	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長	利田 亨次	生徒指導主事	富田 竹則
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会主体の活動』

取組のねらい『キーワード 学習意欲の向上』

「キーワード、学習意欲の向上」をめざして強力一致・大きな輪になれ進化久保中」をスローガンとして自己肯定感を高め望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活作りに参画し諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

身に付けさせたい資質・能力

身に付けさせたい資質・能力は考える力や伝える力そして生徒自ら困難な課題に対して諦めることなく思考し、互いに思いやり協力しながら解決へと向かうことを育成する。

取組の具体的内容『キーワード積極的なボランティア活動の実施』

校区内高齢者施設「星の里」・校区内保育所「るり保育所」でのボランティア活動・ノルディックウォーキング活動・灯りまつりや住吉花火清掃活動・敬老会でのボランティア活動

○生徒会執行部生徒が施設に出向いて事前の打ち合わせをする。

○生徒会執行部がボランティア参加を呼びかける。



星の里



るり保育所

ノルディック
ウォーキング

灯り祭り

住吉花火
清掃活動

○部活動による朝の清掃活動とあいさつ運動

毎朝 7:40～8:05, 部活動ごとに正門で清掃活動とあいさつ運動を行う。

朝のあいさつ
運動の様子

取組の課題・創意工夫『キーワード 考えを伝える』

○自己肯定感は高まったが、生徒の学びに向き合う姿勢等から明確に学習意欲の向上に至っているとは言い難い。

○1つのテーマに沿って各クラスの代表が協議する久保中トークを実施している。活発な意見交流をすることで自分たちのクラスの意見をまとめて説明したり、他者の意見を尊重し、自分の意見を述べたりなど生徒自ら課題解決に向けての必然性の活動になったり自らの見方・考え方の高まりにつながった。



久保中トーク

取組み成果（効果）『キーワード 自分のよさに気付く』

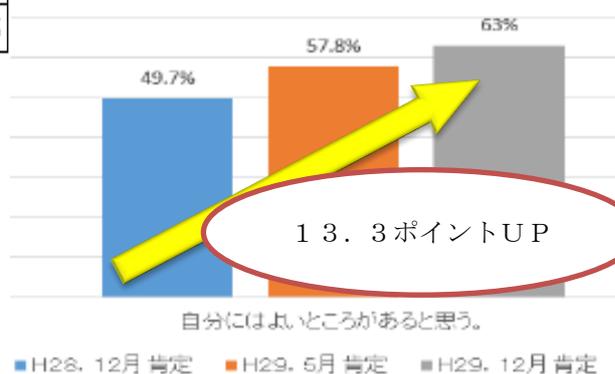
○学校評価に関する生徒アンケートから「自分には良いところがある」という自己肯定感はH29. 12月とH28. 12月との比較で13. 3ポイントの向上、またH29. 12月とH29. 5月との比較では5. 2ポイントと上昇している。

○アセスの結果から受容的な学級風土が築かれてきたことで集団の帰属意識が高まり自己肯定感が向上したものとする。

	H28. 12月	H29. 5月	H29. 12月
	肯定	肯定	肯定
自分にはよいところがあると思う。	49.7%	57.8%	63%



学校評価(生徒アンケート)



今後の展開『キーワード 達成感』

○生徒が自ら企画・計画し生徒の自発的・自治的活動が展開できるよう生徒の意志や主体性から活動を実施している。また、今後もボランティア活動を取り入れ生徒も活動に興味を持ち積極的に参加しようと働きかけをしていく。「自分には良いところがある」と思うことに気付いていない生徒が4割と高い割合を占めている。引き続き生徒主体の活動を工夫し達成感・充実感のある取組を進めていく。

他校へのアドバイス『キーワード 久保中トーク』

テーマに沿って学校全体で協議した「久保中トーク」は課題発見・解決学習として生徒の主体性を育む活動にすることができた。生徒の自主的・自治的活動を通じて異年齢集団での話のすり合わせがよりよい学校生活や集団づくりに有効だった。